

2020 年改訂版 不整脈薬物治療ガイドライン

お知らせ (2023.10.13)

ガイドライン発行時に未承認だった **andexanet alfa** (アンデキサネット アルファ) が 2022 年 3 月 28 日に承認されたことを受けて、同薬の記載をカタカナに変更し「2020 年 3 月現在未承認」を削除しました。

下記に同薬に関する記載がありますのでご留意ください。

p.60 本文, p.63 図 15, p.64 表 43, p.65 本文

●初版～2020 年 11 月 30 日更新版 修正表

参考文献に論文撤回がありましたので、下記の通り記載内容を修正致します。

(2022.1.10)

訂正箇所	誤	正
p94 左段下から 2 行目 (文献削除)	先天性 LQTS では遺伝子型により予後や薬物治療の治療効果も異なる ⁷⁸⁶⁾ 。	先天性 LQTS では遺伝子型により予後や薬物治療の治療効果も異なる。
p149 文献 786)	Shimizu W, Makimoto H, Yamagata K, et al. Association of genetic and clinical aspects of congenital long QT syndrome with life-threatening arrhythmias in Japanese patients. <i>JAMA Cardiol</i> 2019; 4: 246-254. PMID: 30758498	deleted in proof

●初版～2022 年 1 月 10 日更新版 正誤表

記載に誤りがありましたので、お詫び申し上げますとともに下記の通り訂正致します。

(2022.2.14)

訂正箇所	誤	正
p12 表 4 「Minds エビデンス分類」出典	p16	p15
p16 表 6 「Sicilian Gambit の提唱する薬剤分類の枠組」 プロプラノロールの受容	M ₂	β

体		
p16 表 6「Sicilian Gambit の提唱する薬剤分類の枠 組」 アトロピンの受容体	β	M ₂
p16 表 6「Sicilian Gambit の提唱する薬剤分類の枠 組」 表下注釈 A：活性化チャネルブロッ カー	(イオンチャネルの活性化状 態をブロックする薬物)	(活性化状態イオンチャネ ルをブロックする薬物)
p16 表 6「Sicilian Gambit の提唱する薬剤分類の枠 組」 表下注釈 I：不活性化チャネルブロ ッカー	(イオンチャネルの不活性化 状態をブロックする薬剤)	(不活性化状態イオンチャ ネルをブロックする薬物)
p20 表 8「循環器薬の薬 物代謝に関するチトク ロム P450—代表的な基 質，阻害薬と誘導薬」		表下に下記を追記 [2015 年版循環器薬の薬物 血中濃度モニタリングに関 するガイドラインからの変 更点] CYP2C9 の阻害薬にブ コロールム，ベンズブロマロ ン，アゾール系抗真菌薬，シ メチジンを追加，CYP2C9 の 誘導薬にボセンタンを追加， CYP3A4 の基質にリバーロキ サバン，アピキサバン，エド キサバンを追加
p49 図 12「心房細動にお ける抗凝固療法の推奨」左 下	ワルファリン（年齢によらず INR 1.6～2.6 ² ）	ワルファリン（年齢によらず INR 1.6～2.6 ³ ）
P51 右段 15 行目**	3.2.2 DOAC とワルファリンのどち らを用いるかの選択(表 35 ²³⁶ ,	3.2.2 DOAC とワルファリンのど ちらを用いるかの選択（表

	257-260, 333-340, 343, 345-355a ¹⁾ , 表 36)	35 19, 235 , 236, 257-260, 327 , 333-340, 343, 345-355a ¹⁾ , 表 36)
p57 表 39 心房細動患者の抗凝固療法における出血リスクからみた観血的手技の分類 【出血低リスク手技】	<ul style="list-style-type: none"> ・通常消化管内視鏡 ・上部・下部消化管内視鏡, カプセル内視鏡, 内視鏡的逆行性膵胆管造影など ・体表面手術 ・膿瘍切開, 皮膚科手術など 	<ul style="list-style-type: none"> ・通常消化管内視鏡 __ (上部・下部消化管内視鏡, カプセル内視鏡, 内視鏡的逆行性膵胆管造影など) __ ・体表面手術 __ (膿瘍切開, 皮膚科手術など) __
p57 表 39 心房細動患者の抗凝固療法における出血リスクからみた観血的手技の分類 【出血中リスク手技】	<ul style="list-style-type: none"> ・出血低リスクの消化管内視鏡 ・経尿道的手術 [膀胱生検, 膀胱腫瘍切除術 (TUR-Bt), 前立腺レーザー手術, 尿管碎石術] 	<ul style="list-style-type: none"> ・出血低<u>危険度</u>の消化管内視鏡 ・経尿道的手術 [膀胱生検, 膀胱腫瘍切除術 (TUR-Bt), 前立腺レーザー手術, 尿管碎石術<u>など</u>]
p57 表 39 心房細動患者の抗凝固療法における出血リスクからみた観血的手技の分類 【出血高リスク手技】	<ul style="list-style-type: none"> ・出血高リスクの消化管内視鏡 ([ポリペクトミー, 内視鏡下粘膜下層剥離術 (ESD) など]) ・経皮的ラジオ波焼灼術 (経皮的アルコール注入術・マイクロ波凝固術) ・超音波内視鏡下穿刺吸引法 (EUS-FNA) 	<ul style="list-style-type: none"> ・出血高<u>危険度</u>の消化管内視鏡 __ [ポリペクトミー, 内視鏡下粘膜下層剥離術 (ESD), <u>内視鏡的十二指腸乳頭切除術, 内視鏡的食道・胃静脈瘤治療, 超音波内視鏡下穿刺吸引術 (EUS-FNA) など</u>] __
p62 左段 10 行目	表 42 467a) に合致する	表 42 476a) に合致する
p67 図 16 タイトル*	頻脈性心房細動に対する心拍数調節療法療の治療方針	頻脈性心房細動に対する心拍数調節療法の治療方針
P72 右段 14 行目**	表 47 1 , 19, 107, 232, 520-526, 532-534, 546, 556-560 ¹⁾ に示す.	表 47 2 , 19, 107, 232, 520-526, 532-534, 546, 556-560 ¹⁾ に示す.
P81 左段 3 行目**	表 51 に示す 19, 101, 629, 634-641 ¹⁾ .	表 51 に示す 1 , 19, 101, 629, 634-641 ¹⁾ .
P81 左段 21 行目**	表 52 に示す 19, 629, 636, 637, 641, 645-649 ¹⁾ .	表 52 に示す 1 , 19, 629, 636, 637, 641, 645-649 ¹⁾ .
P88 右段 1 行目**	表 57 に示す.	表 57 3) に示す.
P91 図 25 タイトル***	器質的心疾患に合併する持続	器質的心疾患に合併する再

	性心室頻拍の停止および予防 目的で使用される薬物の選択	発性/反復性の心室頻拍に対 して使用される薬物の選択
P91 図 25 最上部***	器質的心疾患に合併する持続 性心室頻拍	器質的心疾患に伴う再発性/ 反復性の心室頻拍
P91 図 25 左上***	停止目的	急性期
P91 図 25 左下***	予防目的	維持期
P103 右段 8 行目**	表 69 ^{728-732, 742, 743, 772, 866- 869, 870-883, 886-888)} に示す.	表 69 ^{728-732, 742, 743, 772, 866- 883, 886-888)} に示す.
P120 表 74「各種抗不整 脈薬の適用, 用法・用量【成 人】(続き)」不整脈に対す る保険上の適用 クラスⅡ ランジオール **		④生命に危険のある下記の 不整脈で, 難治性かつ緊急を 要する場合: 心室細動, 血行 動態不安定な心室頻拍

無印: 2020 年 6 月 19 日更新, *: 2020 年 8 月 28 日更新, **: 2020 年 11 月 30 日更新,

***: 2020 年 12 月 28 日更新